

<発行所>

福岡大学附属 大濠高等学校同窓会
〒810-0044 福岡市中央区六本松1丁目12番1号
同窓会事務局/TEL・FAX 092-714-1681
発行人 山下矩生
編集人 広報・IT委員会

大濠人

福岡大学附属大濠高等学校同窓会会報

<http://www.ohsa.jp/>

同窓会は 故郷の灯台です



53回生の皆さん、卒業おめでとうございませう。
私達、同窓会は若い皆さんを迎え伝統のなかに力強い若人の力をさらに増やしていけることを喜んでおります。明日からの皆さんの未来が希望に満ちたものであると確信しています。永い人生の船出へ漕ぎ出していくわけです。晴れの日もあれば、嵐の日もありませう。悲しいこと、うれしいこと、さまざまな生活があります。どうぞ、ベストを尽くしてすごしていただきたいと思っております。同窓会は母港です。何かを感じたとき、困難なとき、嵐の時、故郷は温かく待っています。荒波のなかを帰る目標に霧笛を鳴らし灯をともしています。どうぞ帰ってきてください。そして、何でも相談してください。何かの解決の糸口をつかめるものと思っております。遠慮しないでください。同窓会組織は全国各地に七支部をはじめ、新入会の諸君を含めて三万六千五百余名の仲間が知恵を出しあつ

て、各界で活躍しています。どうぞ遠慮なくお帰りなさい。
明日の諸君の可能性を信じて、改めて、おめでとうがらば。

同窓会 第六代会長 山下矩生

卒業生各クラスの幹事諸君へ

今回卒業にあたって各クラスの幹事が決まったと思います。恒久的にクラス会のお世話をしてもらいます。今後、担任の先生と連絡を取りあつて、クラスの同窓会などを企画してください。その際の連絡など、同窓会本部でお手伝いします。同窓会本部は売店の裏です。いつでも訪ねてみて下さい。1組の幹事さんは学年の代表幹事です。卒業十周年、二十周年、三十周年と各クラスの幹事さんと連携して記念の同窓会を企画運営して下さい。各クラスの幹事諸君の活躍が同窓会を支えます。

ファンド会関係の情報

特別ファンド会の報告会を開催。
平成17年11月5日(土) 天神平和楼本店に会員約60人が出席。
安藤文六代表(委員長)より「ファンド会員」加入推進について力強い呼びかけの挨拶があった。現在10人の生徒がこの会より支援を受けて活躍されている。未加入の同窓生の皆さん、年会費1万円です。母校の生徒(後輩)のため社会事業としてご協力をお願いします。

卒業おめでとう

三年の洗生方より

卒業してふと振り返った時、君達の心の中に、懐かしく、切なく、そして勇気づけられるような思い出がたくさん残っている。いいなと思えます。僕もこの三年間は充実していたし、とても愉快な毎日でした。
重松勲先生(国語)

卒業おめでとう。個性豊かでありながら、共に歩む「チーム」でもあった三の十一年をありがとう。楽しい一年をありがとう。これからは同窓会の一員として、共に人生を、社会を、大濠の未来を語りあおう。
山下暢二先生(理科)

卒業後も遊びに来て、成長した立派な姿を見せてください。
山本伸一先生(英語)

卒業は、飛翔への弾機。相対化を心がけ己の言霊で語ることに。
竹内邦夫先生(地歴)

卒業、同窓会入会おめでとう。大濠高校同窓生としての誇りを持って、世界で翔いてくれ。これからは先輩としても、後輩達を暖かい目で見守つてくれ。
西村俊文先生(国語)

卒業おめでとうございませう。今は前進あるのみ！
大瀧真人先生(地歴)

三年の皆さん、卒業おめでとう！これからは、自分での生を台本を書かなければならない立場になります。正に今、人生の緞帳が上がる時としています。思う存分に活躍して、拍手喝采を浴びて下さい。
森園健一先生(理科)

卒業おめでとうございませう。クラス四十六名全員元気で卒業出来た事が私にとって一番うれい事です。今後君達が、大濠高校卒業生として、胸を張って活躍する姿を祈念しております。
大賀俊信先生(体育)



福岡大学附属大濠中学校・高等学校
校長 家宇治 輝太郎

早春の候、同窓生の皆様にはますます清祥のこととお慶び申し上げます。近年の少子化、公私の授業料格差等、私立高校をめぐる環境は年々非常に厳しくなつてきております。このような状況の中で、大濠高校同窓会は、常日頃から、物心両面の援助をいたいただき感謝申し上げます。本校校舎、体育館の全面改築もいよいよ着実に設計へと向かっております。この点につきましても3万7千余の同窓生の皆様方のご支援御協力をお願いする次第です。同窓会は、もともと母校への帰属意識を高め、卒業生相互の親睦を図ることをその役割をするといわれています。この役割を果たすために必要な情報を高校と卒業生の皆様との間で、また卒業生の皆様同士の間で相互に交換する媒体となるのがこの「大濠人」だと思います。さて学校の近況ですが、昨年高校の修学旅行は久しぶりに海外ニューギニアランドでした。生徒諸君はファミリーを楽しみ親善に一役買いました。部活動については、運動部、文化部共に活躍しているものがありました。硬式野球部は秋の福岡県南部大会で祐

誠高校を破り優勝、残念ながら九州大会では、選抜出場することになった八重山商工に敗れましたが、今年の夏の甲子園めざして部員一同がんばっています。軟式野球も同じく九州大会出場を果たし、準決勝で、津久見に敗れましたが健闘しました。更にバスケットボール部はインターハイで全国準優勝という快挙を成し遂げました。バレー、バドミントンは全国大会レベルで活躍しました。剣道部は夏の玉龍旗大会連覇をめざしましたが、残念ながら、6回戦で龍谷に惜敗しました。更に今年の特筆すべきものとして、弓道部が全国選抜大会県予選で優勝し、全国大会出場を果たしています。文化部も活躍しました。吹奏楽部は冬のマーチング全国大会で金賞を7年ぶりに受賞しました。新聞部は、高文連主催の全国大会に出場しましたし、放送委員会は、NHK杯全国大会で、研究奨励賞を受賞しました。また、応援指導部のチャリディングが全国初の男子のみチームということで、その練習の模様がNHKテレビでも全国放送されました。九州大会で、ベストマナー賞を受賞しています。いづれも顧問の先生方の日頃の熱心な指導と部員諸君の弛まぬ鍛錬の賜物と心から嬉しく存じております。今後更に、同窓生の皆様方の期待に応えられるように、引き続き、「質実剛健」「文武両道」「明朗闊達」の建学の精神の旗を高く掲げ、総合的な学校力を高め、実績を上げたいと考えています。最後になりますが、山下同窓会長さんをはじめ、多くの同窓生の皆様の変わらぬご支援をお願いいたします。挨拶といたします。

バレー部 惜しくも春高を逃す
 昨年度まで四年連続でインターハイ出場場のバレー部であったが、今年度は決勝で九産に涙をのんだ。続く九州大会予選も九産に敗れ、準優勝での九州大会出場であった。年が明け、二月四日、春高をかけての県大会決勝であったが、またしても九産に後塵を拝する結果となった。夏に向けて臥薪嘗胆、リベンジを果たすべく厳しい練習が続いている。

バスケット部 春季九州大会優勝
 二月十二日、全九州バスケットボール春季選手権大会決勝が熊本県の益城町総合体育館でおこなわれ、ここ数年宿敵である福岡第一高校を97対91のスコアでみごと下した。二年ぶり二十六回目の優勝である。昨夏インターハイ決勝で延岡学園の前に涙をのみ、春の選抜をかけた県大会の決勝では福岡第一に敗れていただけに、久々の破顔一笑である。今の九州を制することは全国を制するに等しいので、また今年の夏が期待できそうだ。同窓生の皆さんのさらなる支援をお願いします。

決勝までの勝ち上がりは次の通り。

一回戦	136	対	67	鹿児島商
二回戦	120	対	60	大津
準決勝	117	対	64	北中城
決勝	97	対	91	福岡第一



校内恒例の寒稽古・2005!

納会で「ぜんざい」に舌鼓!

長期予報を覆す厳しい寒波が南国に28年ぶりの積雪を、九州南の島の古老達のはじめて見たという雪景色。この厳冬の大会の週(24日から28日)に校内挙げて寒稽古が行われた。その納会(28日)行事として生徒会が運営した中・高の各体育部対抗駅伝大会で寒稽古を締めくくった。高校は、当日試合などの部を除く7部(7チーム、5区・85名)、中学は5部(12チーム、7区・84名)の選手達が各部のユニホーム姿で寒稽古仕上げの熱走を繰りひろげた。また、応援の教職員や生徒達が寒さを吹き飛ばす熱い声援で選手達を激励した。高校は、硬式野球部Aチームが1区で区間賞をとり、5区全て1位をキープする33分09秒の力走で完勝し、昨年に続く優勝だった。2位は硬式野球部Bチームで34分04秒、3位は軟式野球部Aチームで34分08秒。

大会終了後の午前11時から校内食堂で表彰式が行われ、上位3チームに賞状並びにトロフィーが贈られた。家宇治校長は「私自身も毎朝5時に家を出て大濠公園を徒歩2週間の寒稽古をしました。クラブの皆さんが早朝と開き、自分に負けない体と心を鍛えようと努力したことを誇りに思います。これから1年健やかで怪我せず精進して、今年も各クラブが大活躍することを期待しています」と寒稽古の労いと激励の言葉を話した。

野村駿太第54代生徒会長が「この1週間の寒稽古を見て、これこそ質実剛健、文武両道の大濠だと実感した。今年も各部が全国大会に出場できるように頑張ってください。自分は部活はやっていないので授業を大切に勉強で頑張ります」と寒稽古の感想と激励や決意を話した。駅伝大会本部では公式記録係りとして居石洋樹生徒会文化委員長(2年)と出利葉健体育副委員長(1年)が寒い中にパソコンを駆使して速報作業を進め表彰式に成績表を配布した。最後に全員が恒例の「ぜんざい」と「熱々のうどん」をかきこんだ。参加した生徒達は食堂で規律正しく行動し、陸上部の徳丸君(2年)が閉会を告げ解散した。



駅伝優勝の硬式野球部A

おめでとう!!

吹奏楽部マーチング部門 全国で金賞

(関東支部からの記事より) 関東支部では事務局長をはじめとしたメンバーが練習会場を確保することから支援しました。また宿泊の確保のお手伝いもさせていただきました。大会前日の練習では多くの同窓生が集まり、練習を見守りながら、最後の難易度の高い技がなかなか決まらずハラハラしました。埼玉スーパードリームでの本番は、男子校ならではの迫力と気合い、そして規律が伝わる見事な演奏・演技でした。最後の技も見事に決まり、拍手が鳴り止みませんでした。そして結果はグランプリ、金賞です。同窓生一同抱き合って大騒ぎでした。その夜は久しぶりに痛快な夜でした。後輩達も年末にビッグボーナスありがとう。おかげで旨い酒が飲めました。(一部割愛、編集いたしました。)



チアリーダーディングで全国区に
 応援指導部の活動の一環として存続を認められたチアリーダーディングチームも初ということで、マスコミにも注目を浴び、何度もテレビなどで取り上げられることになった。大会などには、まだ、エキシビジョンでの出場となるが、各大会で注目を集めている。



修学旅行 二年生ニュージージーランドへ
 大濠高校は過去、中国北京への修学旅行を続けていたが、世界情勢に鑑み、一時海外への修学旅行を見合わせていた。しかし、今年度の二年生は、先生方の下見などの報告をふまえて、ニュージージー

ドへ旅立った。機内一泊を含む五泊六日の日程で、十月下旬に実施された。ニュージージーランドは面積は日本の七〇%、人口は約四〇〇万人(福岡県が五〇〇万人)の国である。南半球に位置するので、季節は日本と逆であるが、今回はこちらが秋であらうが春ということで、それほど気候の違いは感じずにすんだ。経度は日本の関東以北にあたり、たいへん過ごしやすいう気候風土である。民族はヨーロッパ系の白人が約七〇%、先住民のマオリ人が約一五パーセント。したがって、英語とマオリ語が話されている。

さて、今回はニュージージーランドの北島の大都市オークランドを中心に訪れた。人口九十五万人、国内の人口の二五%が集まる。市内では、市街を一望できるマウントイーデン(死火山)、ニュージージーランド最大の博物館であるオークランド博物館、新名所ビクトリア・パーク・マーケットなどを訪れた。

また、オークランド南二〇〇キロのワイトモ鍾乳洞。ここは洞窟のなかに、ツチボタルという光る虫がいて、その数と美しさに皆驚いた。また、ロトルアでは、ファカレワレワという温泉地帯。間欠泉からは水蒸気が沸きあがり、あたり一面硫黄の臭いがする。大分の別府が姉妹都市だそう。ガバメントガーデンは市民憩いの公園。アグロドームは観光牧場。トラクターの牽引羊の毛刈りの見学。今回のメインイベントは二泊三日のファームステイ。生徒達はそれぞれ数人のグループに分かれて、広範囲に点在するファーマーの家庭にホームステイした。農作業を手伝ったり、ホストファミリーとショッピングやハイキングと、たくさんの思い出を作ったようだ。そのなかで生徒達が、コミュニケーション

ョントールとしての英語と英会話の必要性を痛感したことは今回の修学旅行の大きな収穫であった。



旅行後のアンケートでも、生徒諸君の満足度は今までに高く、国際化の時代、大濠高校における修学旅行の今後の発展がますます期待される。



二一ハオ大濠高校「張雷君(二年生)



姓は張、名前は雷。中国語ではザン・レイと発音するそうだ。張君は中国遼寧省鉄嶺(テール

ン)市生まれ。露天掘りの炭鉱で有名な撫順(フーシユン)の北に位置する町だ。お父さんの仕事の関係で小学校一年の時に日本へやって来た。もう日本に十年以上いるので、すっかり日本にも慣れ、日本語も日本人以上に達者だ。趣味は野球。中学時代は当仁中の野球部に所属していた。身長一八三センチの長身である。今は大学の工学部へ進学を目指して勉強中である。中国語で言うところの「学習、学習、学習!」(シユエシー、シユエシー、シユエシー!)といったところか。今でも年に一度は中国のおばあちゃんの家へ帰るといってそうである。また、家に帰ると両親とは中国語で会話するそうだ。「将来、日本と中国の架け橋となるような仕事がしたい。」と朗らかに語ってくれた。

地下鉄七隈線開業一周年

地下鉄の七隈線が開業して一周年を迎えました。平成十七年二月三日の開業当日、六本松駅では、記念の式典が行われ、本校の吹奏楽部の演奏などのイベントも行われ、来賓として本校の校長も招かれました。つい先日のことのように、開業当日橋本駅の始発電車に一番乗りしたのは本校の模型同好会の面々、新聞やテレビの取材も受け、顧問の先生も含め、ご満悦でした。あれから一年早いものです。開業以来、利用客数が予想を下まわって、色々と取りざたされていますが、大濠高校にとっても、交通の利便性が増したのは言うまでもありません。従来の地下鉄の大濠公園駅は歩くのにはやや時間がかかってしまします。バスも渋滞があり、七隈線に乗り換えた生徒諸君は多いはず。なにより利用されている先生方がたくさんいます。薬院から桜坂を通って六本松というと、昔は路面

電車でした。電車の中で「おはよう」と大声でおっしゃる先生、「帽子かぶらんか！」とゲンコツをもらったこと、恥ずかしくなったことを今でも思い出します。あのころ、まさかあのチンチン電車の下に地下鉄が走るようになるとは思っていませんでした。時代は変わりましたが、今年も春になると、夢と希望に満ちた新入生を地下鉄が運んで来てくれるでしょう。



開業日 橋本駅一番乗りの模型同好会



1年前の開業当日

支部だより

従来、支部だよりは各支部に本部より依頼して原稿をいただき、ほぼそのままの形で掲載しておりましたが、今年度より、寄稿された分のみ掲載させていただきます。また別の記事との重複や、紙面の都合上、もしくはホームページに載せる関係から、文章を編集させていただきます。プライバシー保護には特に気を付けたいと思います。悪しからずご了承ください。

関西支部

甲子園初出場初勝利で泣きながら校歌を唱って二十五年、関西支部の記念すべき総会は七月二十三日ロイヤルホテルで、家宇治校長、山下同窓会会長ほか多数の来賓の御臨席のもと四十名で開催されました。総会に先立ち、衆議院議員、市村浩一郎氏(三十回生)の講演会「政界よもやま話」を開催、活発な質問が相次ぎました。

総会のあと懇親会に移り、永年の感謝を込めて、同窓会本部事務の大内田さんに記念品を贈呈しました。恒例の抽選会では、ゲストのB・ジャンネットさんにウツリ、景品にビンクリ。最後に全員で肩を組んで校歌を斉唱、万歳三唱でお開きとなりました。

二次会も北新地で大いに盛り上がり、三十周年に向けて、後藤支部長(九回生)のもと、パワー全開で発進することを見込んで誓い合いました。近畿地区の皆様、モンモジセンと同窓会に出て来んしやい、楽しかばい!

平成十七年度文化祭の風景



書道部



高文連の賞を受賞した新聞部

関東支部

事務局長・田中隆弘(一九回生) 関東支部は十月第三土曜日に開催される支部総会をメインとして、新年会・花見・旅行・暑気払いの会・忘年会などをイベントとして、同窓生のコミュニケーションを図っております。

昨年は千葉でインターハイが開催され、バスケット・バレー・バドミントン・柔道の各部の応援を行いました。年末には吹奏楽部もマーチングの全国大会に出場。練習会場の確保などにも協力しました。支部の活動は、母校の支援活動と会員相互の親睦の二本柱であり、また、一種の異業種交流の場でもあります。卒業生の皆さん、関東支部では、若い会員を大切にします。総会の会費も学生は二〇〇〇円です。その他の会費も学生は一〇〇〇円です。栄養補給に来て下さい。大濠の先輩として色々な役に立てると思います。

事務局はJR中央線西荻窪駅前前の不動産屋です。上京の折はご連絡下さい。

事務局・杉並区西荻南三二八一(有)グリーンアップル内
TEL 〇三―三二四七―三〇一―

筑後地区支部

「大濠つっじ会」の総会を開催。平成十七年度10月1日(土) 久留米市で卒業生が経営されている「久留米グリーンホテル」で、硬式野球の秋の九州大会予選である県南部大会で優勝した中野監督も出席されるなど盛り上がりました。

福岡市役所支部

「鶴友会」総会を開催。平成十七年11月2日(水) 天神平和楼本店で、学校や



2年11組 片岡君の皿まわし



美術部 似顔絵を描いてもらう 牟田先生

同窓会役員など多数出席した。支部の役員改選があり林会長(十一回生)の任期満了により新会長に武田隆氏(十三回生)が選出された。林会長「苦労様でした。」

東海支部

平成十七年11月19日(土)名古屋市中、総会を開催。支部設立が浅いのですが本部より本村副会長(八回生)が出席し本部の現況報告や支部支援の激励など交流を深めました。

三八会「還暦同窓会」開催さる

私たち三八会(十回生)は平成十七年三月二十六日に博多区の「八仙閣」において、五十名の同窓生を集め、還暦の記念同窓会を開催しました。恩師伊藤達治先生、田原憲光先生の御臨席を賜り、大成功の裡に会を催す事が出来ましたことを感謝申し上げる次第です。記念の手拭いを作成し、皆で首にかけたり、頭に巻いたりしての記念撮影はたいへんな盛り上がりでした。

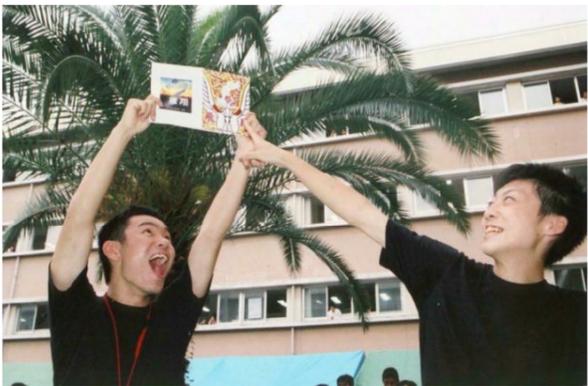
数日前に起きました「福岡西部沖地震」で被災され、出席出来なかった仲間がいましたが、同窓生としてなんとか力になれればと思います。

また、本会において梶原昌幸君(十回生)が新会長に就任いたしました。最後は恒例校歌斉唱とエール、万歳三唱で会を閉じました。最後になりましたが、会の出欠の連絡の中で、本人の世界をお聞きするとうようなこともあり、「皆様方にくれぐれもよろしく」との奥様のお心配りに接しました。心よりご冥福をお祈りいたします。

世話人代表 高原康浩(十回生)



先生方のバンド演奏



左:生徒会長 吉村 玄君



三八会集合写真と記念の手拭い



議員・首長の情報

初の鳥栖市議会議員に当選!
中村圭一氏(35回生)

福岡市議会議員の鬼塚敏満氏(8回生) 平成十七年10月26日(水) 博多区の全日空ホテルで、「議員10周年記念式典」を開催。同窓会からも多数出席した。

福岡県議会議員の佐々木徹氏(23回生) 平成十七年11月29日(火)「博多サンヒルズホテル」で同窓会の若手のホープである同氏の後援会が開催された。

野球部OB会

従来三月に開催されていた野球部のOB会は昨年より、一月二日に開催されることになり、今年で二回目を迎えた。遠方のOBも正月には帰省して参加しやすいためという事です。本年も昨年に引き続き、昼間は学校のグラウンドでOB戦を行いました。ロートルから大学現役バリバリまでみんなハッスルしてたいへん盛り上がりました。これも恒例の行事になりそうです。



さて、夕刻からの総会からは森山君・瀬戸君も駆けつけ、続く懇親会もたいへん盛況でした。二人からは、西武ライオンズと広島カープの球団の裏話なども聞くことができ、たいへん有意義な会でした。秋の九州大会はたいへん残念な結果でしたが、夏に向けての仕上げは万全のようです。同窓会諸兄のさらなるご支援を切にお願い申し上げます。夏、あの甲子園でもう一度大濠高校の校歌をみんなで唱いましょう。

「濠羽会」(バドミントン)OB会

中島杯は大川市で開かれる大会で、生徒・学生・社会人とあらゆる年齢で参加できるユニークな大会です。濠羽会は現役高校生とOBと共にチームを結成し、毎年参加しています。今年度は二十二回生から五十回生までのOBと高校生でチームを編成し、参加しました。夫婦で参加のOBもいました。



中島杯参加メンバー

現役の高校生とOBが共に汗を流しました。今後とも交流を大事にしていきたいと思えます。

お知らせ!
各クラブOB会の活動状況など、情報をホームページへどしどしお寄せください。

「群像」新人文学賞受賞

佐藤憲胤氏 (43回生)



秀作を受賞した。受賞作は『サージウスの死神』(講談社刊)。本名は佐藤憲一、平成八年大濠高校卒業(担任井上栄治先生)。卒業後は家業を継いでいたが、小説家へのあこがれは断ちがたく、三年前にこの作品の執筆にとりかかり、今回の快挙となった。今回の執筆を終え、あらためて小説の可能性や魅力に気づいたとはなす。今後の活躍が楽しみで、芥川賞作家の誕生が大いに期待できる。

大野治憲同窓会副会長(13回生)が「元気売ります!」講演で活躍

福厚連東福岡協会主催の平成17年総会のつどいが、5月8日(日)古賀市古賀中央公民館で開催された。その福祉講座に大野副会長がテーマ「学校ごっこ・元気売ります!」と心の健康増進に特別講演を行った。会場ほぼ満席の協会員や関係者を前に「皆さん、私より先輩の方々とお見受けするが、この一時中学3年生時代に戻ってほしい」と前置きして同氏が考案した社会国語学、社会道德学、社会健康学、社会経営学について、問題ペーパーを掲げながら分かりやすく明るく話を進めた。たとえば、「始」は女は無口で始まる、「親」は木陰に立って見守る、

西山博一氏 (15回生)



講演する大野副会長

「儲」は信用ある人がかせぐ、「不足」は足がたりない(歩く、働く、行動せねば)、「満足」は足を満たすこと、「明」は太陽が照り、次は月のあかりがやってくる、「叶」は毎日10回口でとなえる(ついに叶うことになる)など、アイディアたっぷりの話に会場は「なるほど、そうそう」と頷き、明るい大笑いと拍手がおきた。同窓生の皆さん是非一度聴講してみては!

日本放送協会(NHK)理事 昨春に理事に就任。入局以来技術部門で放送通信分野のアナログ時代から今のデジタル化の先端技術分野で活躍中。同氏が昨年10月28日(金)午後1時から、福岡大学(有朋会館ホール)で満席の在学生や教職員そして同窓生を前に、NHKふれあいキャンパスin福岡大学に、NHKふれあいキャンパスin福岡大学に放送のこれから(デジタルの新しい世界)のテーマで講演を行った。1925年ラジオの初放送、1954年走査線40本で「イ」(カタカナ文字)をテレビ受像機に初放映。福岡で来年4月供用開始のハイビジョン放映は極めて高画質の走査線125本。驚異的台数が使用されている携帯端末向けデジタル映像、iPodなど

同窓生活躍しています!

山岳部OBの川邊義隆同窓会副会長(6回生)率いる登山隊がネパール・ヒマラヤ難峰「ギヤチュンカン(7,952m)」に登頂成功! 既に同窓会のホームページやマスコミの報道でご存知でしょうが、昭和34年卒の川邊義隆登山遠征隊長率いる福岡大学山岳会登山隊が、昨年11月17日に「ギヤチュンカン峰」の南西稜ルートから世界で始めて登頂に成功した。その登頂経過が報道されたが、登山の専門家が難峰と話す峰に当初計画となつて慎重かつ果敢に極限のアタックを行った。そして天候にも恵まれた。同氏が17年前の登攀で頂上を目前にしたが、残念にも滑落事故で逝つたチームメイトの馬場信一さん(当時28歳)の命日に登頂成功できた。今回は本当に限られた時間内での登頂を目標とし



川邊氏とシェルパマスター

メディアの進化について熱弁を振るつた。2011年以降はすべてデジタルの時代へ移行。最後に、これまでの国内外の勤務体験を踏まえて、失敗を恐れるな! トライアゲイン! 夢は無限大! と在学生の後輩たちを鼓舞した。



講演中の西山氏

駅伝部OBが活躍しています!

有隅剛志氏(39回生)
野口直人氏(47回生)
植木大道氏(50回生)

既に同窓会のホームページやマスコミ(TV中継など)報道でご存知でしょうが、大濠高駅伝部OBで平成4年卒の有隅剛志氏(西日本鉄道)、平成12年卒の野口直人氏(西日本鉄道)、平成15年卒の植木大道氏(トヨタ自動車九州)は、昨年11月の九州一周駅伝競走大会、今年元旦の全国実業団駅伝競走大会、1月の全国都道府県対抗男

たため、登攀成功した隊員が両手指に致命的凍傷を起こしたが、現地で支援協力してくれた経験豊富で優秀なシェールパの手助けで無事下山して帰国することができた。歴史に残る快挙だった。

大藪春彦賞受賞

足田邦郎氏(27回生)



漢字で書く「ヒキタクニオ」は既に世に認められた作家である。二〇〇〇年『狂気の桜』で小説デビュー、第二作目の『鷹がクルリと』で直木賞候補になり、二作とも映画化もされた。今回『遠くまで海』(文芸春秋)で大藪春彦賞を受賞した。賞金は五百万円。贈呈式は三月三日、東京丸の内東京会館で行われる。大濠高校時代の恩師である江島先生が電話で話されたところ、「絶対に直木賞をとる」という本人の意気込みが聞けた。そうだ。大濠高校出身の作家誕生の予感がする。ヒキタク氏は福岡市出身。九州産業大学芸術学部在学中からイラストの仕事を始め、卒業と同時に上京。イラストをはじめ幅広い分野で活躍してきた。イラストレーター、グラフィックデザイナー、マルチメディア・クリエイターと多彩な顔を持つ。当面は作家業に専念、楽しみな四十四歳である。兄は大濠高校二十五回生の足田敏明氏。

子駅伝競争大会に力走した。繰り返よく走れるものだと感服しています。また、現在実業団と教職員や大学のチームで走っている、同窓生の近況をご存知の方は知らせて欲しい。駅伝OBの皆さん、大いに精進され更なる活躍を期待しています。



左から 野口氏、有隅氏

J1・鹿島アントラーズに入団!

F.W・田代有三選手(48回生)



大濠高サッカー部OBで初のJリーグとして、平成13年卒の田代有三君が、昨年J1の鹿島アントラーズに入団した。同選手は大学時代、ユニバーシアード日本代表として、昨年の同大会でFWとして大活躍し、日本チームの2連覇に貢献した。また、J

OHORI HIGH SCHOOL O.B. NETWORK

福岡大学附属大濠高等学校同窓会ホームページ
<http://www.ohsa.jp/>

目次

- ・本部からのお知らせ
- ・会報バックナンバー
- ・学校の近況報告
- ・大濠人紹介
- ・掲示板

リーグ大学特別契約選手として、大分トリニータ球団で公認の練習に参加、公式戦にも出場した経験を持つ。即戦力として期待され入団。昨シーズンは入団早々から公式戦にも出場チャンスを得ていたが、残念にも試合中に膝を怪我して半年間治療に専念していた。今年初めから宮崎で行われているキャンプには参加しており、元気にトレーニングに励んでいる。今シーズンの活躍が期待される。

吹奏楽部OBがマーチング 全国大会出場を支援!

第33回マーチングバンド・パトントワリング全国大会が埼玉県さいたまアリーナで12月18日開催された。大濠高ブラスはマーチング中編成の部に九州代表4校の1校として出場した。九州代表予選では4校中一番低い得点で出場を決めたが、全国大会当日は練習の成果を思う存分発揮して九州代表として最高得点で金賞に輝いた。その大会出場まで今回も後輩思いのOB達が、仕事で忙しい中を練習に駆けつけてくれた。その支援指導を見学できたが、後輩たちと年齢が近くブラバンに病みつき好きで好きで堪らない経験豊富な先輩達が、入れ替わり立ち代り連携がとれた熱烈な支援を行っていた。また、後輩達も素直に繰り返し練習に励んでいた。そこに「大濠人」としての「大濠魂」がひしひしと伝わってきた。吹奏楽部のこれまでの輝かしい伝統と栄光が誇っているのだ。これまで単立った先輩達や顧問の先生方の日頃の指導力の大きさを感銘した。これからも頼もしい活躍を祈る!



吹奏楽部OB
左から小寺氏、熊谷氏、小島氏

大濠OB監督 本松好正氏(21回生)
埼玉栄高校金鷲旗制覇(女子)平成十七年度女子の金鷲旗を制したのは、埼玉栄高校女子柔道部であった。監督の本松好正氏は大濠高校49年卒、日本大学を卒業、警視庁勤務を経て、埼玉栄高校に赴任、監督就任十数年目の快挙であった。優勝監督という形で故郷に錦を飾った氏は破顔一笑福岡をあとにした。



表彰に臨む本松氏

「同窓会ホームページの情報」

ホームページがまたまた万全とは行きませんが、同窓生の近況ニュースなど情報不足が困ります。国内外の各界各層で元気に大濠魂を発揮して活躍中の同窓生の皆さんからの暮らし情報や、これほど思われる近況を掲示板に投稿していただきたい。また、取材もぜひお待ちしております。

昨今の会員情報変更依頼の着信メールを紹介いたします。(抜粋、順不同)

- 武田修二さん (S34年度卒)**
[We living Canada, Vancouver from 1973. travel, sports, business, Canada tour]
- 稲坂 令さん (S50年度卒)**
ワシントンDC, NYアメリカ東海岸に居られる大濠高校OBの方は是非紹介下さい、寂しです。
- 松尾英訓さん (S56年度卒)**
在学中は姓が松尾でしたが現在は坂田です。
- 山内淳一郎さん (S60年度卒)**
2006 Super1300 Nissan ワークスチームをスポンサードしてます。
- 山田和彦さん (S51年度卒)**
硬式野球部の監督の中野先生と同じクラスで卒業。担任は廣瀬先生でした。早いもので卒業から30年が経ちました。早いもので卒業から30年が経ちました。早やりたいものでね。23回生誰か音頭とりにしてくださいませんか?!
- 安川浩次さん (S41年度卒)**
今年10月末に退職しました。宜しくお願いします。
- 合原玄太郎さん (H12年度卒)**
転勤で勤務先も変わりました。
- 中山隆弘さん (S47年度卒)**
卒業から34年、始めての消息連絡です。宜しくお願い!

大濠高校同窓会 開催のお知らせ

平成18年(2006)第53回総会・懇親会

今回のテーマ 成とし(12、24、36、48各回生)集まっちゃんない!
「特に、12回生の還暦を祝おう!」

日時: 平成18年5月20日(土)
受付: 17時30分から
総会: 18時00分から
懇親会: 18時30分から

場所: ホテルニューオータニ博多
会費: 6,000円

企画委員会より「お知らせ」と「お願い」!
詳細内容が決まりましたら、同窓会のホームページに掲載お知らせします。現在、懇親会のアトラクションとして、OBの芸達者な方を中心に調整しています。また、来年以降のご参加ご協力が可能なOBの情報を同窓会室まで、ご連絡下さい。今回も抽選会を企画していますが、賞品をご提供していただける方を募集しています。自社の宣伝も含めて、多数の方のご協力をお待ちしております。
同窓会室の電話とファックス番号は、092-714-1681 です。

今年は卒業回数3のつく回生が周年記念の年です。学年同窓会を開催して下さい。
[3回生=50周年、13回生=40周年、23回生=30周年、33回生=20周年、43回生=10周年]

平成十七年度 同窓会総会 & 懇親会風景



訃報

吉開允彦(11回生)
同窓会副会長・組織委員長。
平成17年5月28日 逝去
卒業以来長い間同窓会の発展のために絶大なる「尽力をいたしていた。」
ご冥福をお祈りします 合掌

編集後記

卒業おめでとう!
53回生の新「大濠人」の誕生だ!
君達の若さ溢れる英知をもとにした活躍と成功を願っている。また、これまでの三年間で「大濠魂」のなんたるかを学んで、同窓会入会と期待している。
若い人の「何々になりたい!」と言う言葉をよく耳にする。しかし、問題は「何々になりたいか」ではなく、「何のために何をするか」である。「真の目的」とは何か?自ら学び得たことを自らの人生に役立てることは、当たり前だが、もっと広く大きく、人類の、世界の、文化文明の発展に貢献できるような「真の目的」を目指して、大濠の三年間で学んだことを活かして、是非自分の道を歩んで欲しいと願います。頑張ってください。

藍杯!今、君は人生の大きな大きな舞台に立ち
涙が長道のりを 歩きはじめた
君に幸せあれ!
(長瀬剛の詞より)